

そうじの力だより

VOL.250



支援レポート

挨拶で会社の空気が変わる
～ 全員参加のそうじで明るく前向き～

島根県益田市の株益田クッキングフーズ。弁当や仕出しの製造・配達と、学校給食センターの受託運営、そして各種施設の寮の食堂運営などを行っている会社です。

同社に関しては、以前に数年間環境整備(整理・整頓・清掃)の支援を行っていたのですが、同社側が新たな課題に集中して取り組みたいとのことで、六年間ほど支援を休止していました。

そして、あらためてオフィスをいただき、支援を再開しました。

前回に比べると、今回は同社の意気込みが違っていました。前回の支援時には、推進メンバーの人たちだけが取り組み、他の人たちは知らんぷりというような感じがあったのですが、今回は、全員がしっかりと取り組んでくれています。

前回支援時からずっと悩まされ続けていたのが、モノの多さです。歴史の古い会社なので、書類や厨房機器、食器などが大量に保管されており、置場から溢れ出ている状況でした。

不要なものがたくさんあると、スペースが狭まって生産性が悪くなるだけでなく、必要なものと不要なものがごちゃ混ぜであるために、ケジメのない風土になってしまいます。

今回は前回と違い、皆さんがしっかりと不要物と向き合い、「もったいない」という気持ちにムチ打って、本当に使っているものだけにしてくれました。

その結果、事務所からは三つのキャビネが撤去され、厨房内の棚の中身は空っぽになり、屋



厨房内の棚の中身が空になった

外のプレハブ倉庫にも、必要な法定保管書類だけになりました。

圧巻だったのは、厨房内にある、弁当容器などをストックしてある倉庫です。

当初は、容器が積み重なり、足の踏み場もないほどでした。というのも、メニューや客先によって容器を変えていたのに、何十種類にもなり、管理ができていない状態だったのです。それをやめて、どのメニュー、どの客先でも、同じ容器を使うようにして、容器の種類を減らしていきま



スッキリと管理しやすくなった容器の倉庫

が良くなり、使い勝手が格段に良くなりました。また、以前は厨房の一室に、大きな連続フライヤーが据え付けられていたのですが、今はそれほど揚げ物は作らないとのこと、撤去。代わりにコンパクトなフライヤーを設置したことで、部屋が広く使えるようになりました。こうして不要なものがなくなったおかげで、各所の清掃もしやすくなりました。

デイも毎日洗車してピカピカになっていきます。さらに、環境整備を進める中で、社員の発案で、挨拶を変えました。すべての場面で、「こきげんよう」と言うようにしたのです。朝会う時も、相手の労をねぎらう時も、夜別れる時も、「こきげんよう」です。これは、「あなたのご機嫌が良くなりますように」という願いが込められた、とても素敵な言葉です。

厨房の床面は、以前は汚れて黒ずんでいたのですが、今ではピカピカに磨かれ、調理する気持ちも前向きになります。



ピカピカに磨かれている厨房入口の床面

車配達も、車室内には余計なものを載せず、ボ



ピカピカに洗車されている配達車

最初は照れていた社員さんたちも、すぐに慣れ、あちこちで「こきげんよう」の声が聞かれます。



皆で社員休憩所のテーブルを磨く

配達に行った先々でのお客様の評判も良く、それにつれて、社員さんたちの表情も明るく前向きに変わってきているように感じます。

昨今の物価高の影響で材料費などが高騰し、同社の経営環境も厳しくなっています。

しかし、「そうじの力」=「挨拶の力」で、必ずや逆境から盛り返してくれることを信じています。(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

普段やっていたことがイザという時に
裏表なく取り組むことの大切さ

私の息子は、この春に高校を卒業し、就職しました。親バカかもしれないが、全体的には、しっかりとした人間に育ってくれたと思っています。

ただ、いくつか心配な点もあります。そのうちの一つが、整理・整頓や後片づけが出来ないことです。

脱いだ衣服はその辺に散らかしっぱなし。使った道具は元に戻さない。何かの作業をすると、余った材料や出たクズをそのまま置きっぱなし、などなど。

それでも、どうも学校の教室や部活（サッカー部の部長）では、そういったことをきちんとしていたようです。

やれば出来るので、能力的にできないわけではないのですが、やる気がない、という事です。

息子にしてみれば、外ではちゃんとやるんだから、家では大目に見てくれ、ということでしょう。

しかし、人間というものは、普段やっているとイザという時に出るものです。

会社での職業人としての日常の中で、気が張っている時には後片づけをするのかもしれないが、何かの拍子に、「素」の自分が出て、「やりっぱなし」という失敗を犯す可能性は、十分にあります。

同じようなことを感じた出来事が、先日ありました。

先日、車のボディコーティングをしてもらったのです。自動車ディーラーやチェーン店ではなく、個人でやっているお店に頼みました。

作業には三日間かかるということで、車を用意してもらいました。

ところがその代車が、車内外ともに、ものすごく汚いのです。その日の朝まで雨が降っていたので、ボディ

が汚れているのは大目に見ましよう。



内外ともに汚い代車の実際の写真

問題は、車内です。足下に敷いているマットは砂利だらけ。そのマットも、真ん中が劣化で穴が開いています。

この代車を見た瞬間、私は固まりました。こういう代車を平気で客に提供する店主の感覚は、信用できません。

ひよつとすると、店サイドとしては、客の車については丁寧に扱うから問題ない、と捉えているのかもしれない。

しかし、普段やっているとイザという時に出る、という前提に立てば、果たして本当に客の車を丁寧に扱っているのだろうか、という疑問が湧きます。

結果、ボディコーティングは全体的には問題なかったものの、案の定、細かい部分で不備がありました。

今振り返ってみると、汚い代車を見たその場で、契約を解除した方が良かったかもしれない、と思っています。

普段の行いが、大事なのです。（小早）

編集後記

続・大相撲が熱い！

先日、わが家のすぐ近くで、地方巡業「大相撲高崎場所」が開催されたので、観に行ってきました。



本場所と違って、力士たちが本気でぶつかり合うわけではないのですが、大きな力士たちを間近で見ることができて、楽しめました。

残念ながら、ケガの影響か、応援している大の里は相撲を取らず、安青錦と義ノ富士の姿はありませんでした。3人とも、体調をしっかりと治して、5月場所はぜひとも元気な姿を見せてほしいものです。（小早）

飛鳥のつばやき

新たなチャレンジ

次男も小学生になったため、土日家でゲーム三昧になるのを防ぐべく、兄弟でスポーツ少年団の野球チームに入ることに。

ルールを全く知らない子供たち&今までの人生で野球にあんまり縁がなかった親なのですが、「家から兄弟で自転車で行ける」という理由だけで、選んだ野球。

果たして「少年野球児の母」に無事なれるのか…。この春また新たな世界に挑戦です(^-^)

（大槻）



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

現場巡回、講義、実習、チームミーティング、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。（全国対応）

X(旧ツイッター)で、「環境整備 一日一言」を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！